

私の所属する公益財団法人では、京都市内7つの青少年活動センター、就労支援をしている京都若者サポートステーションと、ななたん地域若者サポートステーション(亀岡市内)、子ども若者総合相談窓口・支援室を運営しています。青少年が社会の担い手として成長するために、社会参加と自主的な活動の機会を提供し、必要な支援を行っています。

これまで、いろいろな地域の青少年活動センターに勤務してきた中で、「ボランティア活動がしてみたい」「友達があほしい」「なにをかしてみたい」「話を聞いてほしい」などさまざまな若者の声を聴いてきました。

「出会い」が未来をつくっていく

評議員 宮川 知子

今回は、今、私が勤務している山科青少年活動センターのある一日を、来館者の声の一部をとおして、知っていただきたいと思います。

10時：地域の卓球クラブ「年をとって杖をつくようになつても来るつもり」

11時：インターンシップの事前訪問にきた大学生ボランティア活動や対人支援のことを知りたくて来ました

12時：調理室を利用する地域団体「障がいのある人ができる料理を増やしたい。大人数で使える調理室があるのですね」

13時：フットボールクラブにきた親子「公園が使えないので子どもが走り回れ

る場所があつてほしい」

14時：中学2年生女子「ここはお金がかからないので、きやすい」

15時：休憩中 中学生男子「よく休める。ソファアームがキモチイイ。マンガもある。テレビもある。」

16時：ケーキつくる姉弟「今日、誕生日の母親に自分たちでサプライズのケーキをつくる」

17時：部活終わりの中学生「喋りに来た」「トランプがある！ テニスコートがある！ 今日はヒマやったから小学校からの友達と来た」

18時：さつまいもを焼く女子高生「さつまいもを焼く病院でへそピアスをあけてきた。雨が降つてきたので傘を借りに」

19時：高校2年生「ダンスのレッスンや、ラスト前に友だちと喋りながら勉強している」

19時半：日本語教室主催の大学生「国境をこえた交流がいい」

20時：10代女子「ひま、行くところないからここに来る。夜12時まで開いてほしいな。お泊まり会もしたい！」

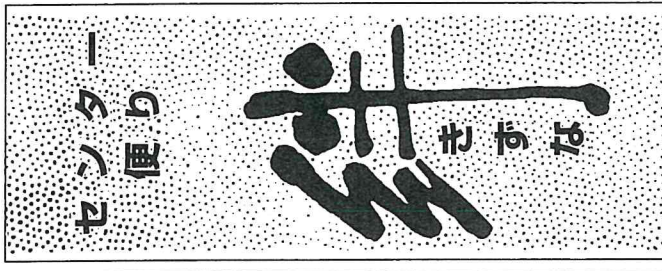
21時：ふらつと寄つた17歳の間に、河原町で職質かけられて靴下の中まで調べられた(※1)

「楽しい経験ができた」「少し自信がついた」「ここは第二の家やわ」「来てみてよかつた」という声、「俺、ここがなかったらグレートわあ」というやんちゃな男子や、事業に参加した後、「死にたい」と口にする数が減つた」という大学生に出会うと、家や学校、職場以外に自由に利用することが出来る場所、話が出来る人と出会う機会がとても大切で必

要なことだと感じます。安心できる時間や場所があることであたたかい気持ちになり、人との出逢いを紡いで、その人らしく生きることが出来るのだと思います。そういう中で、さまざまな経験や一生続くような交友関係が糧となり、豊かな気持ちを感じて、自分や人を大切に思う、思いやりのあるやさしく平和な社会の一員になっていくことを願っています。

西陣会の活動理念にも、「私たちは一人ひとりの人間がその人らしく生き、大切にされ、お互いを助け合つて共に生きていける社会を目指しています」とあります。設立から55年が経つた今、新しいチャレンジもしています。私も志を同じくする者として、心をあわせて活動していきたいと思っています。

(※1) 公益財団法人 京都市ユースサービス協会 広報誌ユースサービス28号 特集「若者×ハコ」より抜粋。



第174号

発行所
社会福祉法人
西陣会
HP: <http://www.nishijin.org>
E-Mail: nishijinkai@nishijin.org
〒602-8464
京都市上京区元智願寺千本東入ル
TEL (075) 451-8971
FAX (075) 451-5700

発行者: 水上 雄一郎
編集責任: 浅田 将之
郵便振替口座
01030-5-23086

ホームページでも
ご覧になれます

当法人への寄付
金は、課税控除
対象となります
ので、その為の
受領書が必要な
方はお申し出下
さい。

ありがとう ピーポ 「ピーポ テイクオフ」

西陣児童館 中山 あ い

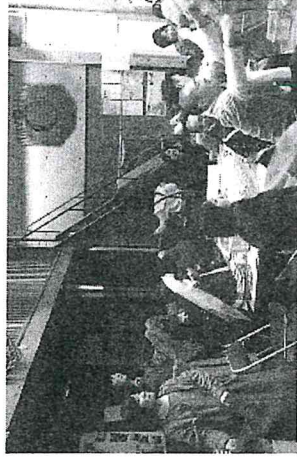
二〇一八年三月十八日(日)、四十周年を迎えた家庭療育援助グループ「ピーポ」のテイクオフが開催されました。

当日は、四十年の間にピーポと出会ったメンバーさん、親御さん、ボランティアさん、元職員たち、参加はできないけれども、メッセージや写真を寄せてくださった方々、電話をくださった方々、たくさんの思いがあふれた日でした。現役ボラと有志のOBボラたちが一生懸命に用意してくれた写



写真と年表を見ながら...

真や、年表を懐かしく見られたり、スライドショーを見ながら、当時の話や近況



リンダの「リ狙い撃ち」に合わせて



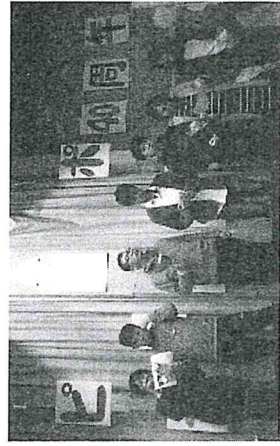
「思い出トーク」第1期のお母さまたち

ピーポとの出会いがあったからこそ、西陣児童館での障がいのある児童の受け入れが始まり、京都市の児童館での「統合育成」へと広

報告に花が咲きました。

ピーポを三期に分けての「思い出トーク」では、参加者おひとりおひとりがメッセージを寄せてくださいました。その当時よく歌っていた曲に合わせて色とりどりのスカーフをふつてのダンスでは、会場に笑顔が広がり、虹が大きくかかったかのような様子でした。

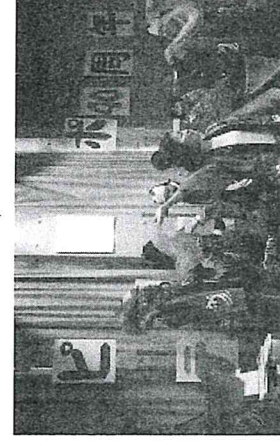
ピーポの目的には「メンバー・ボランティア・親がつながりあい、支え合って『三若でつくっていく』場として活動しています」「メンバーの成長と豊かな社会生活を送るために、どのようなグループ活動を行っているか、親とボランティアと一緒に考え、語り合っていく場です」と掲げられてきました。その目的や活動について繰り返し、話し合いがなされながら、メンバーを真ん中にして、親とボラが一緒につくっていく活動は四十年の間、継続していきま



最後のテイクオフメンバーたち



第3期はピーポクイズ



第2期「ドマツケンサンバ」



ピーポ ありがとう!!

がりました。また、ピーポの子どもたちの成長から、「夜ふらつと」が始まり、今の西陣会の障がいのある方々への様々な地域生活支援事業へと広がっていきました。ピーポからまかされた種は、時代を越えて、関わったひとりひとりが今歩む場でも、芽となり花となって広がっていることと思います。

ピーポ、ありがとう。ピーポを通して出会い、関わってくださったおひとりおひとりに、本当にありがとう。

ピーポから受け継いだことを胸に留めながら、これから出会っていく子どもたちへ親たちへ、西陣児童館として何ができるのか考え続けていきます。

地域生活支援二コース

西陣会居宅サービス係

チームで支援するということ

サービス提供責任者 岡田 瑛子

五月は新たな生活拠点西陣会ホームきたまち・ネイバーフッドきたまちへ入居されたご利用者の支援に従事することが多く、毎日があつという間に過ぎ、支援に入るご利用者のご様子に一喜一憂した日々でありました。

あるご利用者が入居される日、きたまちで出迎え、これから暮らす居室へ案内した時です。いつもなら多弁で笑顔もある方が、その日は黙って辺りを見渡し、緊張した面持ち。私からの声かけに『ハイ。』と返事をされた姿がありました。それから一週間が経ち、ヘルパーとしてその方の支援に入った時に、様子を伺うと、居室で寝転びゆらゆらと揺れてご機嫌なお話をしている姿がありました。誰が一番不安で頑張っているのか、その不安を少しでも安心に変えていただけるよう、ご

家族はもちろんのこと、日頃よく関わっている職員も部署を越え集まりアイデアを出し合い、入居される何日も前から準備をして当日を迎えていたんだと改めて感じた日でもありました。ある先輩職員が昔言っていた『支援へ注ぐエネルギー配分は事前準備が90%・当日の頑張りは10%』という言葉、昨年受講した研修で、ある講師が言っていた『現場のリアルを伝える』という言葉の大切さを今強く感じています。

ご利用者の今の様子、支援者一人一人が感じていることをタイムリーに共有し、支援の手立てを作っていくことは簡単なことではありませんが、目の前のご利用者が幸せになるために協働していくことが今いつそう求められているのだと考えています。

テイセセンターふらつと

目の前だけにとらわれず

主任 五十嵐 伸 治

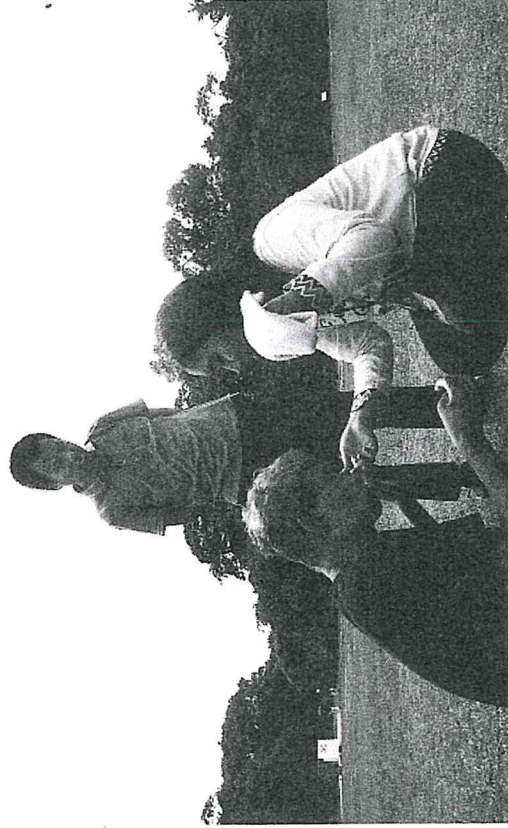
今年も新しい年度を迎えました。職員が増えたり、異動されたりはありましたが、利用者さんの日常は、ふらつとの中では変わりなく過ごされています。

五月からホームきたまちとネイバーフッドきたまちが始まり、ふらつとからも多数の利用者さんが参加されて住環境の変化がありました。今のところはこちらが思っていたよりも、馴染んでおられる方のほうが戸惑われている方よりも多いかのように見受けられます。でもそれは真実でしょうか。他人の気持ちが理解できることなんて、障害がある無しにかかわらず、一生かかっても無理なことでしょう。それなのに、ついで他の職員に「この方はこれこれこういう方なので、先ほどの行為はこういう理由でされたんですよ。だから

次からこういうことがあればこうしてください。」なんて形で伝えてしまいがちです。もちろん今までの行動を記録・分析し統計に基づいて対応を統一していくようにして、いるつもりですが、目の前で起こっていることだけに対応するのではなく、その背景を常に頭に入れて、色々な可能性を考えて沢山の選択肢を持つて支援できる

ようにしていく事が大事だと思っています。

私事ですが、うちの長男も高校一年生になり、今までは地域の学校の育成学級でお世話になっていたのですが、四月からは支援学校に通っています。今後どうなっていくかわかりませんが働く大人になって欲しいなと思っています。思うだけでは駄目でしょうが。



植物園での一んびり

西陣会ホームとなり・きたまち

「きたまち、はじまりました！」

副所長 赤尾 幸雄

二〇一八年五月一日、西陣会ホームきたまち（グループホーム）は事業開始を迎えました。となりから転居される方、新たに入居される方、四月後半から引越し作業を行い、何人のお手伝いをしたことでしょうか……。引越し予定がスケジュールにびびり、自分の本業がよくわからず、某フリーズで有名な「ニリ」配達員とも顔馴染みになる程でした（笑）。ただ、入居者の動線を踏まえ、構造やレイアウトを考えることは楽しい時間でもありました。

グループホームへの入居にあたり、親御さんやご本人にとっては、人生の大きな転機を迎えられたことでしょう。「子供を捨てるような気がする、親がまだ元気なのによいのだろうか」等の否定的なご意見も多数伺いましたが、お父様・お母様、不安や心配は尽きないでしょうが、ご安心下さい！

親御さんが居られる間に実家外にご本人の居場所を作るのが大事だと思っております。生活の幅も広がることとでしょう。実際のところ

シヨートステイゆうを利用されていた方が多く、お互いに過ごし方をイメージしやすかったことが大きく、比較的導入もスムーズだったように思います。

・帰省した際、一緒に過ごす時間を大切にしている

・許せる部分が増えた

・怒ることが少なくなった

等、親御さんの声を聞くことがあり、うれしく思いました。気持ちに余裕を持つことって大事ですよ。まだまだ始まったばかりのため、バタバタするとは思いますが、より良いきたまちの姿を追い求め、スタッフ一同努力してまいります。



きたまちでのうれしいお祝い晩ごはん

シェアハウス小松原の家

シェアハウスに暮らして

小八木 大士

45歳独身、趣味は野球。するの、観るのも好きです。仕事は2カ所、1つはトイレの掃除、高齢者のデイサービスではお風呂の掃除です。辛い時もあります。休日は部屋の掃除、廊下の掃除、外の通路の落ち葉の掃除もして部屋でゆつくり過ごします。土日の休みは実家に帰って父、母に会います。

◆シェアハウスに暮らしての感想は？

みんなと話したり、旅行や初詣に行ったりするのが楽しいです。家は静かで落ち着きます。区民運動会にも参加して楽しめたのでまた行きたいです。

◆一番楽しかったことは？

昨年6月に入居者3人とヘルパーと行った沖縄旅行です。とても暑かったけど、初めて乗ったドラゴンボートは楽しかったです。国際通りで食べ

たステーキも美味しかったです。

◆辛かったことは？

入居者同士で、言い合ったり喧嘩されることです。みんなで仲良くしたいです。入居してすぐは寂しかったけど、1カ月くらいで仲良くなれてヘルパーとも話しやすくなり、寂しさはなくなりました。

◆頑張っていることはたくさんありますか？

掃除を頑張っています。

◆自分の部屋だけでなく、廊下の掃除、お風呂や外の掃除もよく頑張ってます。ありがとうございます。洗濯物を取り込んで畳んでそれぞれの部屋の前に置いてくださり、みんな感謝しています。

貯金も始めました。みんなでご飯を食べに行くことを目標にしています。

◆すごいですね。目標もつて頑張っているんですね。

◆これからやってみたいことは？

2泊のキャンプ、魚釣りをしたいです。野球も観に行きたいです。

◆小松原のみんなと行ったり、ヘルパーと行ったりできるといいですね。

◆他に伝えておきたいことはありますか？

シェアハウスに住んでから、アンガーコントロール研修に参加しました。怒りっぽかったのですが、以前より少しずつ怒りをコントロールできるようになりました。習ったことと「イライラした時には6秒待つ」ことに気を付けています。でも先週、コントロールできず職員の人を叩いてしまいました。すぐに反省するのですが、優しくなって、友人もたくさんほしいです。彼女もほしいです。

◆小八木さんは将来、一人暮らしも目標にされましたね。私たちは応援していますよ。怒りのコントロールをうまくできるようなって友人を増やして楽しい時間を増やしていけるといいですね。彼女ができることも応援しています。

支援センター「きらりんく」

サービス担当者会議発、支援のりレー

相談員 箕浦 佐知子

複数の支援を利用して
いる方のサービス担当者会
議では、多くの支援者が集
まります。

普段は連絡ノートなど記
述で情報が引継がれるとこ
ろですが、会議ではお互い
に踏み込んだ内容で意見交
換をすることが可能になり
ます。

例えば、主治医から食生
活改善指導がある場合、家
事援助は食材購入から調理
に、通所先では昼食に関係
していることが多いでしょ
う。事業所で身体計測/健
康診断の機会があるところ
も多いです。移動支援では
食事を伴う余暇活動も多い
でしょう。訪問看護では健
康状態の評価や相談をされ
るでしょう。

それぞれの分野が、どの
ように食生活の改善に貢献
できるのか提案し、連携で
きれば、曜日・時間・役割
の分散がマイナスになるど
ころか、いつもどこかで同

じ目的に向かって支援がリ
レーされているという大き
なプラスになります。こう
いう場面に出会うたび、そ
れぞれのプロ意識や、連携
相手の仕事への、信頼を感
じます。

しかし、タバコやお酒の
ような嗜好に左右される課
題などは、どこまで本人の
希望を尊重するのか、みん
なの考えが揃わず、悩むこ
とが多いです。忌憚なく議
論し、本人中心を守りなが
ら、その時点での目指すべ
きを探ります。

その人らしく生きること
に「基準」や「正解」はあ
りません。支援者の価値観
の相違が、支援りレーには
ころびを生む危険もありま
す。

相談員としては、継続し
たモニタリングで支援効果
を探り、次の会議まで、情
報のフィードバックに努め
たいと考えています。

支援センター「にじじん」

上京ねつと総会・研修会を開催！

相談員 万代 由香利

六月六日、二〇一八年度
上京区障がい児者支援ねつ
とわーく（上京ねつと）の
総会を開催しました。今年
度は四十五名の方が参加し
てくださいました。

毎年総会の中で講師をお招
きして研修会を開催してい
るのですが、今年度は中西
昌哉さん（障がい者地域共
生拠点イマジン・ベテスタ
の家統括管理者）にお越し
いただき、『障害者虐待防止
法、障害者差別解消法につ
いて』と題して、お話を伺
いました。

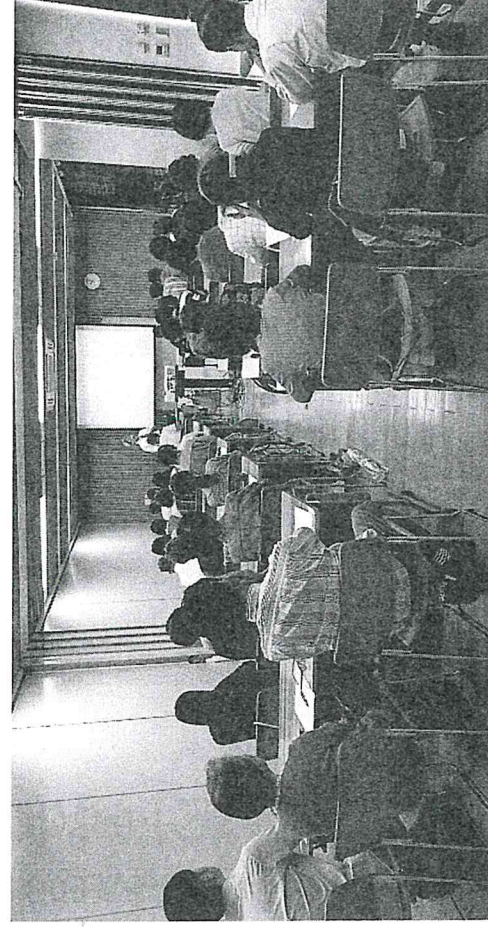
法律の話になると難しいも
のと構えてしまいましたが、
中西さんはご自身の経験を
交えて具体的にお話をし
ていただきました。

研修会には障がいのある方
に関わっている支援者だけ
でなく、民生児童委員の方
もたくさん参加してくださ
いましたので、中西さんの

お話はとてもわかりやすく
改めて知り、考えることの
できるよい機会となったよ
うです。

研修会の中で、『知らないこと
が虐待や差別に
繋がる。私たち
の身近にいるそ
の人のことを知
ることから始ま
る。』というお
話があり、多く
の方が共感され
ていましたが、
普段の生活の中
で障がいのある
方に関わってい
なければ、その
人のことを知る
ことは難しいと
ころもあると思
います。

全ての方に
知っていただく
ことは難しいで



上京ねつと総会

すが、障がいのある方が地
域でその方らしく安心して
暮らすために、地域で一緒
に生活されている『ご近所
さん』に障がいのある方の
想いや暮らしを知っていた
だくことができるよう、上
京ねつとの取り組みを通し
て発信していければと思い
ます。

路地裏ステーションニュース

西陣児童館

子育てに奮闘するお母さんに 伝えたい七文字の言葉

野崎 瑛和子

みなさんは一日あるいは一か月の中で自分の時間のどのくらいあるでしょうか？

幼児クラブでお子さんを待つ方々と接する中で、「自分の時間が持てない」や「子どもをいかにして早く寝かしつけるかをずっと考えている」との声を聴く事がたくさんありました。

そういった経験を通して、自分が想像している以上に、お母さんたちは日々苦勞をして思い悩んでおられる事を知りました。

そんなある日、幼児クラブで一冊の本を読むことになりました。

「ぼちぼちいこか」

そんなタイトルのつく本

は、子育てに励むお母さんの為にある職員が読んだ本でした。

子育ても家事も、ぼちぼちいこか。

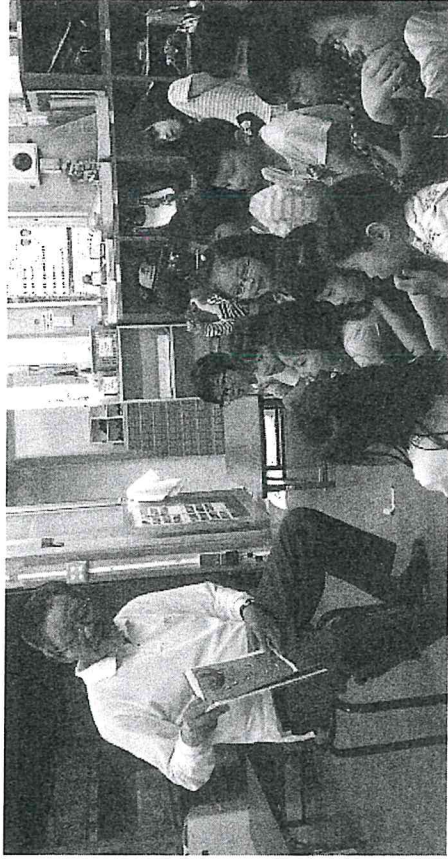
児童館での子育て支援に大切な事はまさしくその精神ではないかと思っています。

子どもたちの事を考えるのはもちろんですが、児童館という場が、乳幼児期のお子さんを持つお母さんの心の拠り所となるよう、努めていくべきだとその日、境により強く思うようになりました。

お母さん同士や職員とおしゃべりを通して、少しでも心にゆとりが生まれ、短い時間でも一息つけるようなそんな空間であり続けたいと思います。

「ここで、お母さんたちもゆつくり過ごしていただくからね！」

そんな思いを胸に今日も子育て支援の活動に入っています。



じいじの本読みタイム

京都市障害のある中高生のタイムケア事業「ういず」 「未来」につながる「いま」をいっしょに

所長 中山 あい

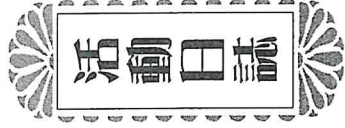
2018年6月。今年もういずが教室の一室をお借りする紫野小学校の朝会にて、ういずの紹介をさせていただきました。開所して以来、11回目の朝会です。「ういず」は「いっしょに」という意味だよ。ういずの中高生のお兄さんお姉さんも、ここにいる紫野小学校のみんなも「いっしょに」心もからだも大きくなっていきますように、素敵な毎日を過ごせますようにって願いも込めて「ういず＝いっしょに」という名前になりました」とお話しさせていただきました。

ういずは、中高生たちの「今」が同世代の仲間たちの中で輝き、かけがえのない「だからもの」に出会える支援を意識しています。そして、「今」は、子どもたちやご家族の「未来」につながっていくこと、今後も生きていく地域社会にもつながっていくことであることも意識しています。

「ういず」を必要として選んで来てくださる方々に、まだ出会っていない方々のためにも開かれるういず、中高生たちの「今」のありのままの姿を受けとめ、そして、未来を見つめながら、ご家族と一緒に悩み考え喜び合えるういずでありたいと思います。

新しい一年、小学生たちや地域の方々とういずの仲間たちの中で、どんな出会いの瞬間が生まれるのでしょうか。次代を担う子どもたちが、自分のありのままの姿で地域の中で育ちあひながら、互いの存在を知り、違いを認め合い、支えあつて生きていく、そんな社会を目指しながら、一緒に歩んでいけるういずでありたいです。

4月より、児童館館長と兼務でういずの所長に就かせていただきました。12年目に向けてスタートした「ういず」をこれからもよろしく願いいたします。



【本部業務・公益事業】

- 4月**
 - 1日 桜まつり 嘉楽消防分団総会
 - 5日・24日 トレジャートレーディング説明会打合せ (浅田・宮崎)
 - 13日 共同募金会助成伝達式 (宮崎)
 - 20日 キャリアパス&人材育成計画推進委員会 きたまち開所式 (水上理事長・浅田・宮崎)
 - 22日 西陣会職員交流歓迎会 西陣千本100円商店街
 - 23日 月曜集会 産業医面談相談会
 - 25日 桜まつり実行員会反省会
 - 26日 車両事故防止法人内研修
 - 27日 きょうと介護福祉職場面接会相談会 (浅田・宮崎)
- 5月**
 - 9日 総務委員会 福祉就職フェア説明会 (宮崎)
 - 11日 法人監事監査 (菅監事・村井監事)
 - 14日・28日 月曜集会
 - 15日 事業所見学説明会
 - 17日 共同募金会助成金贈呈式 (水上理事長・浅田・宮崎)

- 21日 キャリアパス&人材育成計画推進委員会
- 22日 社会福祉法人役員等研修会・指導監査等説明会 (浅田・藤原)
- 23日 OJT担当職員座談会
- 25日 上京区社協理事会 (浅田)
- 26日 理事会
- 28日 産業医面談相談会

【西陣児童館】

- 4月**
 - 9日 学童クラブ入部式
 - 12日 地域の子育て支援の場への職員派遣 (今年度も定期的に実施)
 - 13日 地域の高齢者施設との交流活動 (今年度も定期的に実施)
 - 17日 ぽこ・あ・ぽこ発会式
 - 18日 パレイドリスタート
- 6月**
 - 11日・25日 月曜集会
 - 16日 定時評議員会
 - 18日 キャリアパス&人材育成計画推進委員会
 - 21日 新任職員研修会 (武田理事)
 - 24日 新任職員研修会 (水上理事長)
 - 25日 産業医面談相談会
 - 27日 きょうと福祉人材育成認定制度審査 (宮崎・小西・松井)
 - 30日 福祉就職フェア (浅田・宮崎)
 - 30日 職員自主研修会「応用行動分析」研修報告

- 5月**
 - 8日 上京区140周年記念事業実行委員会(中山)
 - 26日 第一ブロック児童館学童保育所まつり
 - 31日 ドリームチルドレン 上京わんぱく広場 (松井・野崎)

- 6月**
 - 15日 同志社女子高花の日交流 (シャボン玉と工作)
 - 23日 出前児童館

【居宅サービス係】

- 4月**
 - 8日 居宅職員全体会議
 - 24日 就職セミナー
 - 25日 となり調整会議
- 5月**
 - 13日 居宅職員会議
 - 28日 居宅介護等事業連絡協議会総会
- 6月**
 - 1日 サービス提供責任者会議
 - 3日 料理教室
 - 3日・9日・17日 集団活動企画「NI S H I J I N シネマズ」みんなで映画鑑賞し」
 - 6日 上京ねっと総会

【ライオンセンターふらっと】

- 4月**
 - 16日 全体行事：映画観賞会
 - 25日 家族会総会

- 5月**
 - 15日 上京区障害児者生活支援連絡会 (五十嵐)
 - 25日 自閉症eサービス基礎講座受講 (3名)
 - 31日 京都市集団指導 (本林)
 - 京都市食中毒・感染予防対策講習会受講 (宮川)

- 6月**
 - 7日 行事検討委員会
 - 22日 OJT研修受講 (田中く)
 - 28日 全体行事：音楽活動

【きらりんぐ】

- 4月**
 - 6日 北部自立支援協議会運営会議
 - 26日 京都市障害者相談員連絡会
 - 27日 基幹支援センター会議
 - 29日 左京地域福祉推進委員会

- 5月**
 - 14日 北区こころのキャンパスネットワーク実務者会議
 - 15日 左京こころのふれあいネットワークワーキング会議
 - 21日 市社協日常生活自立支援事業審査会
 - 24日 障害支援区分審査会
 - 31日 京都市集団指導

- 6月**
 - 9日 北部自立支援協議会支援センター部会
 - 21日 北部自立支援協議会

- 全体会議
- 25日 京都市自立支援協議会虐待防止部会
- 27日 相談支援スキルアップ研修

【にしじん】

- 4月**
 - 5日 中部自立支援協議会事務局会議
 - 10日 中部支援センター部会
 - 18日 中部自立支援協議会 医療的ケア専門部会
 - 27日 相談支援専門員カフェ 基幹支援センター会議

- 5月**
 - 9日 中部自立支援協議会事務局会議
 - 10日 バザールカフェ 将来構想委員会
 - 17日 中部自立支援協議会運営会議

- 6月**
 - 5日 下京こども家庭支援ネットワーク
 - 6日 上京ねっと総会
 - 8日 中部自立支援協議会総会
 - 19日 相談支援従事者現任研修講師派遣
 - 25日 相談支援従事者初任者研修講師派遣
 - 27日 相談支援専門員スキルアップ研修

※毎月、施設長会議・主任会議を実施しています。その他、諸事業諸活動においても定例活動を行っております。

センター往来

- ◎ 4月8日(日)、6月10日(日) 『西陣の朝市マルシェ』に出店させていただきました。
- ◎ 5月20日(日) 京都御所にて上京消防団総合査閲が行われ、嘉楽分団の一員として5名の職員が参加しました。
- ◎ 5月26日(土) 理事会が開催され、2017年度決算報告について承認されました。
- ◎ 6月15日(金) 同志社女子高校の生徒さんが恒例の花の日訪問をされました。ダイセセンターふらつとのユニット1と児童館へ花束を届けてくださり、子どもたちとの交流も楽しんでくださいました。
- ◎ 6月16日(土) 定時評議員会が開催され、2017年度決算報告について承認されました。
- ◎ 6月26日(火) 西陣会居宅サービス係職員高田恵里さんが入籍されました。おめでとうございます。

職員人事(常勤職員)

- 入 職**
西陣児童館
伊藤 諒子(6月1日〜)
ダイセセンターふらつこと
赤川 寛子(6月10日〜)
鈴木 はるか(6月18日〜)
- 異 動**
居宅サービス係(4月1日〜)
大富業奈美(ダイより)
菅 真旅人(ダイより)
上杉 明由(ダイより)
川口 幸(ダイより)
西陣会ホーム となり
藤原 啓太(西陣児童館より)
- 退 職**
にしじん
藤本 幸代(4月30日付)

計 報

四月二十七日居宅サービス係職員の北尾悦子さんのお父様がお亡くなりになりました。天上での平安をお祈りいたします。

六月二日西陣会後援会の世話人を長年にわたり担っていた早川一光さんが天に召されました。安らかな眠りと残されたご遺族の方々に慰めがあります。お祈りいたします。

で寄贈品のお礼

貴船荘の桐山幸二様、しのぶ様よりテーブル、椅子等の家具類を複数点、ご寄贈いただきました。心より御礼申し上げます。

助成金のお礼

社会福祉法人京都府共同募金会様を通じて、エムケイ株式会社様より西陣会ホームきたまちのテレビ、洗濯機2台、冷蔵庫に対して助成金を頂きました。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。



～ 学 童 っ 子 の 5 月 6 月 ～



真剣! 「カブラつみ」ギネスに挑戦



「トアララの呪文」鈴ダンス



学童は、やっぱりおやつしよう♡

住所変更のある方、当機関誌のご不要な方はFAXにて(075)451-5700 迄ご連絡下さい。

社会福祉法人 西陣会

- 。法人本部
- 。京都市民福祉センター
- 。地域活動支援センター
- 。地域生活支援事業
- レスパイトサービス
TEL (075) 451-1971
FAX (075) 451-1570
- 。西陣児童館
- 。京都西陣のおる中居宅の
タイムケア事業 ついず
TEL (075) 451-1971
FAX (075) 451-1570
- 。西陣会居宅サービス係
- 相談支援事業所 きずな
TEL (075) 471-4100
FAX (075) 411-1591
- 。ダイセセンターふらつこと
TEL (075) 471-4100
FAX (075) 411-1591
- 。西陣会ホーム となり
- ショートステイ ゆう
TEL (075) 461-1306
FAX (075) 411-1591
- 。西陣会ホーム きたまち
TEL (075) 461-1355
FAX (075) 461-1356
- 。京都市中部障害者地域生活
支援センター にしじん
TEL (075) 471-1300
FAX (075) 451-1369
- 。京都市北部障害者地域生活
支援センター きらりんぐ
TEL (075) 751-0102
FAX (075) 751-0107